2015年10月20日　A班：新井、木村、遠山、和田

田中素香『ユーロ　危機の中の統一通貨』岩波新書、2010年

1.目次

はしがき

Ⅰ章：ユーロの歩み　―1999～2010年―

Ⅱ章：ユーロ導入までの道のり　―1970年～1998年―

Ⅲ章：ユーロはどういう仕組みなのか

Ⅳ章：世界金融危機とユーロ

Ⅴ章：ギリシャ危機とユーロ存亡の危機　―2010年以降―

終章：ユーロ再考　―課題と展望―

あとがき

2.著者紹介

田中 素香（たなか そこう）

1945年 福岡県生まれ

1971年 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了。現職（2010年現在）：中央大学経済学部教授、経済学博士。専攻：ヨーロッパ経済論、統合経済論

著書：

『世界経済・金融危機とヨーロッパ』（編著、勁草書房、2010年）

『検証・金融危機と世界経済―危機後の課題と展望』（共編著、勁草書房、2010年）

『拡大するユーロ経済圏―その強さとひずみを検証する』（日本経済新聞出版社、2007年）

『ユーロ その衝撃とゆくえ』（岩波新書、2002年）

ほか多数。

3.選定理由

ユーロの仕組みを明確にする。

ユーロと金融危機との関わりを見直す。

ECB（ヨーロッパ中央銀行）の役割を知る。

ユーロが崩壊しない理由を議論する。

リーマンショックとEU・ユーロとの関わり見直す。

ギリシャ危機の始まりを見直す。

ユーロ離脱とは何か？また、その可能性を考察する。

「リージョナル・インバランス」とは何か知る。

ユーロ危機に何をすべきかを議論する。

ギリシャ危機以降の加盟国・ECB・IMFの動向を明確にする。

ユーロの＊＊＊仕組みを明確にする。

ユーロと＊＊＊＊金融危機との関わりを見直す。

ECB（ヨーロッパ中央銀行）の＊＊＊＊役割を知る。